

2006. 10. 3 第 33号

新日鐵ハートフル・コンサート ピアノ・フルート演奏と童画展の夕べ

主催：新日鐵八幡ハートフルスチールの会

「新日鐵八幡ハートフルスチールの会」では、さる9月27日、新日本製鐵(株)八幡製鐵所総合センターの西側玄関ホールにおいて“ピアノ・フ



フルート：田室信哉氏 ピアノ：中川淳一氏

ルート演奏と童画展の夕べ”と題した、「新日鐵ハートフル・コンサート」及び「田中時彦童画展」が開催され、「聖小崎ホーム」の子供たち、及び「とりはた玄海園」の方々約 50 名を含む 150 余名がすばらしい演奏に感動のひと時を過ごした。



コンサートを前に挨拶を行う黒川会長

同会は、新日本製鐵(株)八幡製鐵所のボランティアグループで社員有志によって構成され、障害者施設・養護施設の子供たちを対象にした“未来児フェスタ”、高齢者世帯を対象とした“腕自慢おまかせサービス”、小学生を対象とした“新日鐵杯少年友好サッカー大会”など約 10 年間前から活動を行っているもので、今回は、現在八幡製鐵所に展示し日本に一台だけ現存しているオリジナルフルコンサートグランドピアノを使用して、開催されたコンサートである。



演奏を聞き入る山本八幡製鐵所副所長

コンサート終了後、“新日鐵八幡ハートフルスチールの会”の黒川政彦会長は、「由緒あるこのピアノをお借りして、ここでコンサートを開くのが我々の会の夢であった。本日、実現できて大変うれしい。また、今までは、未来児フェスタ等で子供たちとのふれあいを行ってきましたが、こういった今までとは違った環境の中で子供たちが一生懸命聞いている姿を見たとき、大変感動致しました」と語った。

また、コンサートを聞いた後の小学生の女の子は、「(ピアノとフルートのアンサンブルの音が)とても綺麗でした。そ

して、また聞いてみたいです」と感想を述べた。また、上記フルコ



田中時彦氏による「童画展」



子供の目は、奏者に釘付けだった

ンサート・グランドピアノは、故ヘルベルト・フォン・カラヤン氏や前田憲男氏ら多くのピアニストが演奏した由緒あるピアノである。なお、「童画展」を行った田中時彦氏は、八幡製鐵所ステンレス部ステンレス管理グループに所属し、2001 年の北九州博では日本一大きな紙芝居制作、2006 年北九州市立子育て支援センターの壁画制作活動など行った経緯がある。